

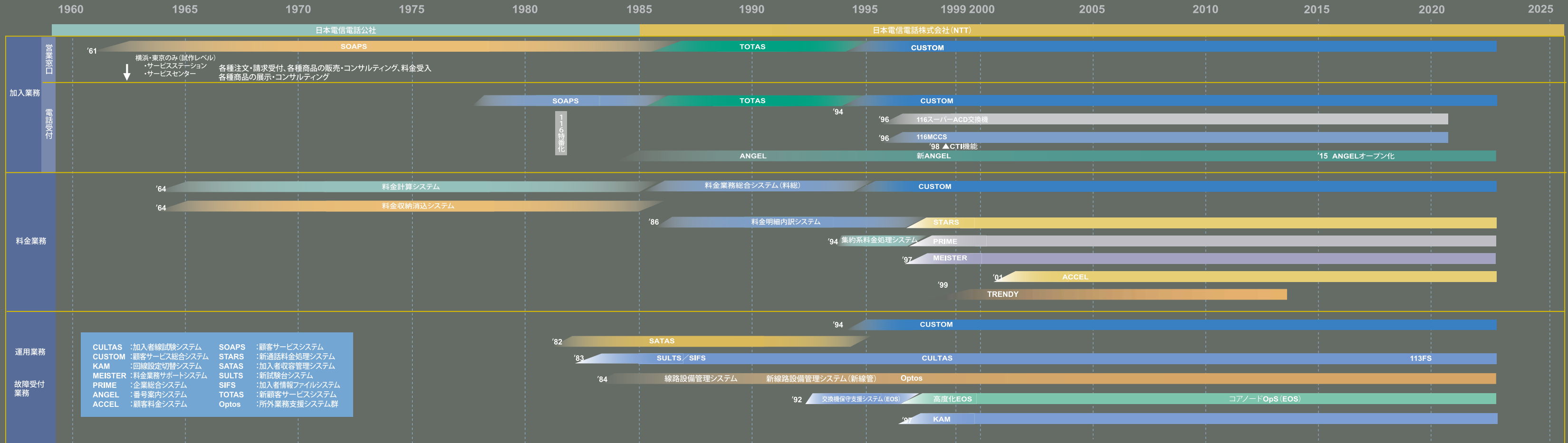
サービス関連システムの変遷

Transition of service systems

最初のステップは、料金計算の電算化に始まる機械化の時代である。作業の効率化と顧客への確実な対応を可能とした。

2番目のステップは、ネットワークのデジタル化を背景とした自動化の時代である。各種業務が電算化され、急激な加入者増への対応や顧客サービスの向上とスピードアップが可能となった。

3番目のステップは、CUSTOMを中心とした統合化の時代である。顧客データベースの一元化と業務のフロールー化で迅速で正確、しかも、きめ細やかなサービスが可能となった。



- CULTAS : 加入者線試験システム
- CUSTOM : 顧客サービス総合システム
- KAM : 回線設定切替システム
- MEISTER : 料金業務サポートシステム
- PRIME : 企業総合システム
- ANGEL : 番号案内システム
- ACCEL : 顧客料金システム
- SOAPS : 顧客サービスシステム
- STARS : 新通話料金処理システム
- SATAS : 加入者収容管理システム
- SULTS : 新試験台システム
- SIFS : 加入者情報ファイルシステム
- TOTAS : 新顧客サービスシステム
- Optos : 所外業務支援システム群